

八女市地域公共交通協議会

平成20年 9月 5日設置
平成21年 3月25日連携計画策定



概要

新八女市(八女市、黒木町、立花町、矢部村、星野村)において、地域内の移動を円滑にしつつ、小需要利用に対応できるドア・トゥー・ドアのデマンド交通を導入する。併せて、幹線を運行する民間路線バスの運行ダイヤの見直し等改善を行う。また、デマンドタクシーと連携、サービスのすみわけを行い、住民利便性向上、コストの低廉化を図る。

○デマンドタクシーの導入

予約・配車システムを予約センター内に設置し、システムの活用により、効率的、即時的な配車を行い、的確な運行サービスを提供する。本システムは、一人一人の予約データやキャンセル情報等がデータベースに管理され、利用状況が一目瞭然に把握できる。
上記データに基づいた改善・改良及び利用の実態把握に努め、2次導入及び本格運行に向けた計画策定・検討に役立てることとする。

○デマンドタクシーの実証運行【1次導入】

導入初年度には、利用実績、モニタリングによる利用状況の把握を行い、民間バス路線を補完する公共交通として運行している「さちかぜ号」、「患者輸送車」の運行見直しを含め、民間路線バスとの連携、利用促進効果の測定、民間路線バスの運行見直しを含め、全新市への2次導入に向けた利用拡大を図る。

○デマンドタクシーと民間路線バスとの連携

デマンド交通を民間路線バスに接続するにあたり、利用者の状況を十分踏まえた接続拠点の検討と、バスの運行路線の見直し、運行ダイヤの調整を図り、乗客を待たせることなくよりスムーズに乗り換えできるような体制づくりを目指す。

